

ここが聞きたい 4人の議員が一般質問

一般
質問

第5日目に一般質問が行われ、4人の議員が町政について質問しました。



大根田 周平 議員 (6ページ)

- ① 文化力向上策について
- ② 芳賀町振興計画ビジョンの明確化について



岡田 年弘 議員 (7ページ)

- ① 将来像を実現する手段の「教育をつなげる」について
- ② 義務教育皆勤表彰について



小林 一男 議員 (8ページ)

- ① 学校教育について



北條 勲 議員 (9ページ)

- ① 交通弱者支援について
- ② ウォームビズについて
- ③ 小中学校トイレの洋式化について
- ④ お盆中の小中学校閉校について

一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内とされています。

〈次回の定例会は3月2日からの予定です〉

みんなで議会を傍聴しましょう

議会は、はがチャンネルでも放送します。

— 放映時間 —

会議当日	午後8時から
再放送	翌日の午後2時から



大根田 周平 議員

文化力向上策について

問 今日では、文化芸術と経済は密接に関連しあうと考えられるようになってきた。今後一層、文化芸術を振興して町づくりを進めることが重要と考えるので次の点について伺う。

文化振興条例の制定と文化振興基本計画を策定しては。

答 町長 文化力を向上させることが町の活性化につながるものと認識していますが、町外に発信できる文化資源がありながら十分に活用しきれていない現状です。今後は、庁内全体で文化力向上の施策の検討と併せて条例や基本計画の必要性を検討します。

文化振興基金を創設しては。

答 町長 町では17の基金を設置していますが、基金に積み立てる財源確保が難しい状況です。文化関係専門家などの意見を伺い



▲「ぶどうの木」
福田たね・青木繁合作

振興計画ビジョンの明確化について

問 第6次振興計画がスタートしたが、町の重点事業や地域の特性をふまえたテーマを設定して構想図を作成しては。

答 町長 LRT事業ではアニメーション画像を織



りませた走行動画の作成を進めています。今後は、町勢要覧の作成を進めるとともに重要な計画はそれぞれの進捗に合わせ、広報紙や芳賀チャンネル、ホームページなどでわかりやすく情報提供していきます。

問 構想図などを作成するに当たり、次の6つの事業について提案、そして経過などについて伺う。

- ①町が将来の都市像として描くネットワーク型コンパクトシティ②LRTを中心とした地域内交通の未来図③祖母井中部・北部の区画整理、下原・橋場地域の魅力的で風情のある構想図④芳賀高跡地の住宅地造成構想図⑤県が主体的に整備する遊水地、食肉センター敷地の全体構想図⑥工業団地拡張区域

答 町長 まだ具体的になっていますが県関係機関と農林調整をしていきたいと考えています。

問 遊水地を遊びやレクリエーション、イベント、県央地域を代表する水を主体とした特徴ある公園に位置付けしては。

答 町長 遊水地に桜堤と見ながら県と話し合い、町民の皆さんに発表していきたいと思っています。

答 町長 平成10年度から平成22年度までに岩村秀巖、林香君氏などの作品3件を購入しました。

答 町長 これらについては振興計画に掲げてあります。町民の皆さんにわかりやすく伝えるために関係機

将来像を実現する手段の「教育をつなげる」について

問 町は知・徳・体のバランスのとれた児童・生徒の教育をはかるため、特色のある教育を推進することになっているが、どのような方法で進めていくのか伺う。

答 教育長 学力向上については学習指導助手やマスターズボランティアを配置し、きめ細やかな支援を行っています。また、道徳の教科化に伴い、生命尊重・思いやり・感謝を柱とした授業に取り組みます。健やかな体を持つ児童・生徒の育成については、指導者向けの講習会や体力向上

の取り組みに努めています。また、正しい食生活や望ましい食習慣を身につけさせるとともに、地場農産物を多く使用した給食を提供していきます。こうした教育を通して郷土愛を持った「はがまちっこ」を育てます。

問 中学校においては、ロボットコンテストやスポーツのレベルが全国でも高い。特色ある学校づくりの手段について伺う。

答 教育長 町内の自動車関連企業やロボット産業で活躍している企業の協力を得ながら、体験学習等

を実施するとともにマイチャレンジ事業などを通して、ものづくりに触れる機会を設けることで個性や能力を伸ばすきっかけにすると同時に芳賀町の立地企業

義務教育皆勤表彰について

の素晴らしいさを知り、郷土愛を持つ良い機会になるよう環境を整えていきます。スポーツ活動については、生徒が楽しさや喜びを味わえるよう保健体育の授業や運動、部活動の充実を図ります。学校だけでなく、地域の協力をいただきながら

特色のある学校づくりを推進します。



問 各小中学校における義務教育表彰はどのような形で行われているのか。

また、勉学・スポーツ等の表彰は広報紙・芳賀チャンネル等で掲載・放送されているが、皆勤表彰についても同様に町民の方々に知っていただくようにできないか。

頑張りや家庭の協力があったことだと思えます。この実績をたたえる意味でも今後は広報紙や芳賀チャンネルを活用し、広くお知らせしていきます。

問 芳賀北小や芳賀南小ではこの皆勤賞になぜ取り組んでいないのか。

問 皆勤賞に対する教育委員会の考えを伺う。

答 教育長 自分の心と体の健康を自分自身で管理する意識を持つことを重視したいと思っているため、全ての学校で一律に皆勤賞を設けるよう指導することは考えていません。児童・生徒の頑張りや家庭の協力をたたえる意味では価値があり、ほめて育てることは教育の原点であるので、教育委員会としては推奨していきたくは考えています。

答 教育長 現在、芳賀東小学校と芳賀中学校で皆勤の児童・生徒に対して表彰を実施しています。教育委員会では義務教育9年間の皆勤表彰を実施しています。皆勤は児童・生徒が自分の健康管理に気を配り、休まずに通い続けた本人の

答 こども育成課長 中には病弱な児童もおり、精神的・肉体的な負担や差別につながる恐れがあります。また具合が悪くても無理して登校してしまい、症状の悪化を招くなど健康上の配慮から、実施していません。

岡田 年弘 議員



一般質問



小林 一男 議員

学校教育について

問 文部科学省が4月に実施した2016年度全国学力・学習状況調査、全国学力テストで、本町小学6年生、中学3年生では良好な成績をおさめている。教育長が芳賀中勤務時に、全国ロボットコンテスト応用部門優勝、全国バレーボール選手権大会ベスト16など文武両道を掲げ実現してきた。この実績を今後の教育行政にどう生かし、どのような教育を目指すのか伺う。

答 教育長 学校、保護者地域、そして行政の一体感こそが、芳賀町の長所

だと思っているので、この伝統をさらに発展させ、子どもたちと教職員が安心して自信をもって教育活動に取り組めるよう、環境を整えていきます。芳賀町教育大綱基本理念である「地域の教育力で未来を創る人材を育成します」の具現化に向けて努力します。

問 とちぎっ子学習状況調査では平均を下回っている教科があるが、その対策について伺う。

答 教育長 学力アップ推進会議において調査結果を分析し、より学習効果

の高い指導法のあり方を追求してまいります。

問 新体力テストの結果を受け、平成25年度から体力向上の取り組みがなされているが、その結果と課題について伺う。

答 教育長 町内の保育園・幼稚園・小学校・中学校の担当者のほか、県教育委員会の指導主事と宇都宮大学の教授を学識経験者として迎え、実態の分析と対策について協議し、各園・学校において改善を図ってきましたが、さらに充実を図ります。

子ども育成課長 芳賀北小では、体力向上や学年を超えて児童が交流することなどを目的に、スクールバスの時間を30分程度遅らせて、児童が自由に遊べる時間を設けており、児童には非常に好評です。

問 里山わんぱくランドの進捗について伺う。

答 生涯学習課長 今年度整備した上延生の山林を使って来年度から講座として開催を予定しています。

問 スクールバスの運行スケジュールを見直し、子どもたちに遊びの時間を提供して体力づくりの一助にできないか。

答 子ども育成課長 芳賀北小では、体力向上や学年を超えて児童が交流することなどを目的に、スクールバスの時間を30分程度遅らせて、児童が自由に遊べる時間を設けており、児童には非常に好評です。

問 スマートフォンの使用が精神面や子どもたちの発達にどのように影響するのか、教育長の認識を伺う。

答 教育長 研究によると、脳に間違いなく悪影響を与えると結果が出ています。また、1人でゲームをするので、人格形成上も非常に問題がありますし、コミュニケーション能力も落ちます。さらには、ゲームをすることによって外遊びもなくなり、体力の低下にもなります。私は、百害あって一利なしと考えています。

問 ボルダリングが体力向上と学力向上にも有効とのことだが、取り入れられないか。

答 生涯学習課長 危険を伴う可能性もあるので、よく検討します。

問 鹿沼市に続き宇都宮市もノースマホの目を設定したが、芳賀町の取り組み

みについて伺う。

答 教育長 ゲームやインターネットをする時間が長いほど学力が低いという相関関係が見られます。このため、町PTA連絡協議会では、基本ルールを作成し、保護者の皆様に提案をしたところです。



交通弱者支援について

問 高齢者による自動車事故が相次いで発生しています。運転免許を返納しない主な理由は、公共交通機関が充実していないからです。次のことを伺う。

1 運転免許自主返納者支援があります。当町での考えは。

2 福祉タクシー2kmまでは町の助成があります。2km以上の地区は自己負担があり不公平ではないか。

3 買い物難民対策として受託業者の育成対策を伺う。

答 町長 1点目、今年4月からデマンドタクシーの利用料金が引き下げ

られたので利用していただきたい。運転免許自主返納のきっかけになるようデマンドタクシーの無料券や割引券の交付支援を他市町の取り組みを参考にしながら検討します。



2点目、福祉タクシーの主な利用は町外の医療機関等への移動です。町内はデマンドタクシーを利用して現在の不公平はないと考えています。

3点目、町内業者に委託し、月2回の見守りを主な目的とした移動販売による買い物支援を65歳以上のみの世帯で、自力による買物が困難な10世帯に実施しています。対象世帯以外にも民間業者による移動販売や宅配サービスを利用いただければと思っています。

ウォームビズについて

問 町では冷房時のクールビズを実施しています。暖房時のウォームビズも実施する考えがあるか伺う。

答 町長 現時点では実施の予定はありませんが、電気消費量の推移等を勘案しながら検討します。

小中学校トイレの洋式化について

問 児童・生徒の自宅トイレは大多数が洋式と思われれます。健康面や衛生面で指摘があります。洋式化の対応を伺う。

問 学校は災害時に地域住民の避難拠点となります。子どもから高齢者まで安心して使用できる洋式トイレは必要です。再度伺う。

答 教育長 学校と協議の上、快適で安全な学習環境が確保されるよう改修に努めます。

答 教育長 学校とよく相談して検討します。

お盆中の小中学校閉校について

問 お盆期間中の4日間を閉校日とすれば、節電が見込まれ、職員の連続休暇を取りやすくなるので実施できないか。

対応ができる態勢をとっており、最低1名の職員が勤務しています。今後は、近隣市町の状況を踏まえ検討します。

答 教育長 お盆や年末年始でも、急を要す問題が発生した場合に、迅速な



北條 勲 議員

